



わたしたちは忘れない ～狩野川台風から50年～

『狩野川台風の経験を後世に伝える』

狩野川台風 50年シンポジウム

狩野川台風は、853人(狩野川流域の犠牲者)もの尊い命を奪いました。当時の貴重な体験談や写真、資料を元に狩野川台風を振り返り、今後の治水事業や防災体制の向上に生かしましょう。参加無料。

とき 9月27日(土) 13:00開場、13:30～16:00

ところ 葦山時代劇場大ホール

内容 記念講演『狩野川台風の記憶』(伊豆市振興公社理事長・西島萬徳氏)、資料で振り返る狩野川台風、意見交換

申込み方法 はがき、FAX、Eメールで必要事項を明記して下記へ(申込み多数の場合は、抽選)

申込み・問合せ 国土交通省沼津河川国道事務所工務第二課
〒410 8567 沼津市下香貫外原 3244 2 電話 055 934 2006
FAX 055 934 2019 Eメール numazwo8@lilac.ocn.ne.jp

申込み締切
8月31日(日)

必要事項
住所
氏名
年齢
性別
人数
電話番号

狩野川台風慰霊式典

とき 九月二十一日(日)十時～十一時
ところ アクシスカつらぎ

伊豆の国市を流れる『狩野川』。街の自然を語る上で欠かせないシンボリックな存在であり、私たちの生活を支えてくれる大切な河川です。

今でこそ、豊かな自然の恵みをもたらしてくれる狩野川

ですが、昔はたび大雨が降りれば、濁流で荒れ狂う『暴れ川』でした。昭和三十三年九月二十六日に襲来した台風二十二号は、私たちの街に未曾有の大災害を引き起こしました。

あれから五十年。同台風による記憶、教訓を風化させる

ことなく胸に刻むため、『狩野川台風五十年事業』を行います。式典にご参加ください。台風被災で亡くなった人のご遺族に式典の案内をいたします。ご案内が届かない場合や、式典に参加を希望する人は、福祉課へご連絡ください。

問合せ 福祉課
電話 0558(76)8006

公園はみんなのもの

公園をもっと快適に！気持ちよく！



市には狩野川リバーサイドパークをはじめ多くの公園があります。公園内での迷惑行為は他の利用者に不快感を与えます。公園を快適で気持ちのよい場所にするために、公園内でのマナーを守りましょう。

ペットのフンやオシッコは衛生上、他の利用者に不快感を与えます。ペットを公園内に連れてくるときは、リードをつける、芝生広場にはペットを入れない、フンは持ち帰る、水などで尿を流すことを守りましょう。

ゴミ箱を設置してある公園もありますが、基本的には自分で持ち帰りましょう。ゴミのポイ捨ては止めましょう。

公園内ではバーベキューや花火、焚き火等を禁止しています。

ゴルフの練習は危険なだけでなく、芝生を傷めますのでやめましょう。

公園はみんなのものです。赤ちゃんからお年寄りまでが楽しく過ごせる公園にしましょう。

問合せ 都市計画課
電話 055(948)2909

たくさん応募がありました ポスターコンテスト表彰者

【小学校の部】

特選 藤本美柚、花房沙緒里(長岡南)、小野寺悠夏、木村巴香(葦山)、伊藤歩惟(葦山南)、佐野芽衣(大仁)
入選 園田みのり、杉山匠、入佐水萌(長岡南)、山本愛佳、藤田梨緒(長岡北)、川原優人、羽田知菜美、柿島亮也(葦山)、鈴木結衣(葦山南)、菊地杏菜、榊原惇子(大仁)、石井千映(大仁北)
佳作 花房菜緒美、櫻田真弓、渡邊美咲、新井初音(長岡南)、杉崎愛生、関穂乃香、佐藤里彩、細川花菜(葦山)、堀田咲、鈴木みずき、加藤稜太郎(葦山南)、川口朋珠、宮崎大樹、渡邊美波(大仁)、矢田真子、藤原由美(大仁北)、谷さおり(大仁東)

【中学校の部】

特選 福田悠希、内田志織(長岡2年)
入選 山口侑里奈、竹内美月、萩原瑞紀(長岡2年)、大沼裕香(葦山3年)
佳作 土屋早紀、山本知佳、小川奈々、内田千尋(長岡2年)、中村萌々(葦山2年)、金子愛(大仁1年)、岩崎澪(大仁2年)

ご賛同ありがとうございました 第58回社会を明るくする運動

『防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り』を統一標語に、社会を明るくする運動を展開しました。7月中には街頭宣伝、ポスターコンテスト優秀作品展示、ミニ集会、施設訪問などの行事を実施しました。

問合せ 福祉課 電話 0558 76 8006



耳の不自由な方は
筆談しますので
お申し出下さい



聞こえが不自由なことを表す
『耳マーク』です

耳マークカード

耳の不自由な人は、障害そのものが分かりにくいために、誤解されたり、不利益を受けたり危険にさらされたりするなど、社会生活のうえで不安は数知れません。

耳マークは、目の不自由な人の『白い杖』や『車いすマーク』と同じように、『耳が不自由です』という自己表示をするために考案されました。

耳の不自由な人には、手話よりも筆談の方が分かりやすく、口元をはっきり見せて、ゆっくり話すが良い人もいます。筆談などで話をする

このマーク、ご存じですか？

はつきりと、口元を見せて話をする
大きな声で、はつきり話す
呼ぶときは、直接案内するか、手招きで

耳マーク普及にご協力を
市役所でも六月から、窓口にて耳マークカードを設置しました。

お店や会社などを経営している人は、窓口や店先にぜひ耳マークカードを設置してください。

耳マークは、全難聴(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)が普及を図っています。

問合せ 福祉課 電話 0558(76)8007